

vol.

112

2023

7/28 発行



いちのへ社協だより

ゆいっこ



CONTENTS

令和4年度決算報告、令和5年度予算概要	2～3	できごとフラッシュ	8～9
特集 摺糠児童館閉館からみるこれからの子育て支援	4～5	一戸町社会福祉協議会新役員体制のご紹介	10
令和5年度事業計画	6～7	社協からのお知らせ	11
		Topics	12

題号"ゆいっこ"は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。



令和5年度

予算概要

一戸町社会福祉協議会は、今年度も引き続き地域包括ケアシステムの構築に向けた生活支援体制整備や認知症に関する総合支援、保育環境を安定的かつ持続的提供に向けた保育施設の受託を中心とした各事業を標記予算のとおり展開していきます。



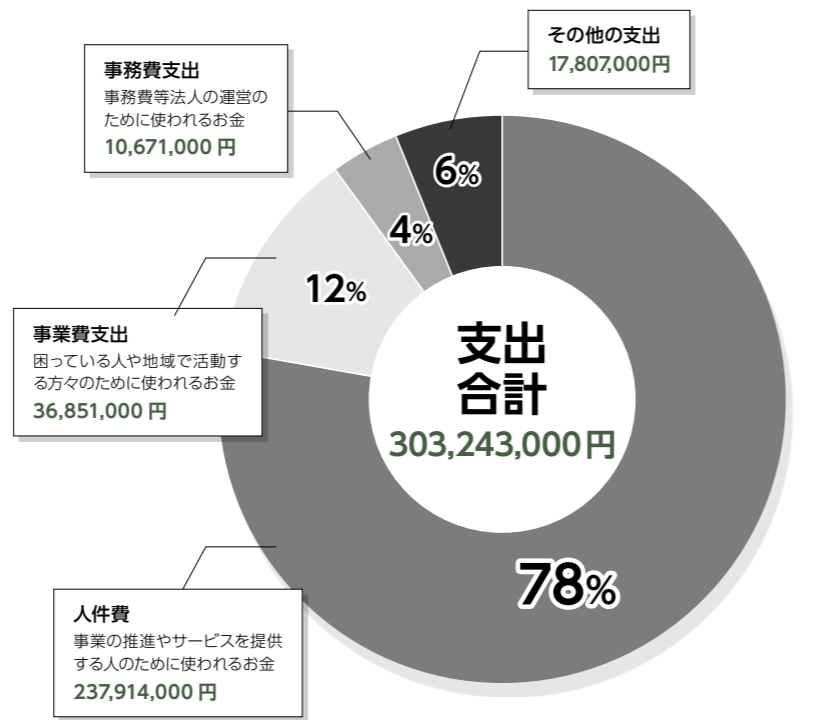
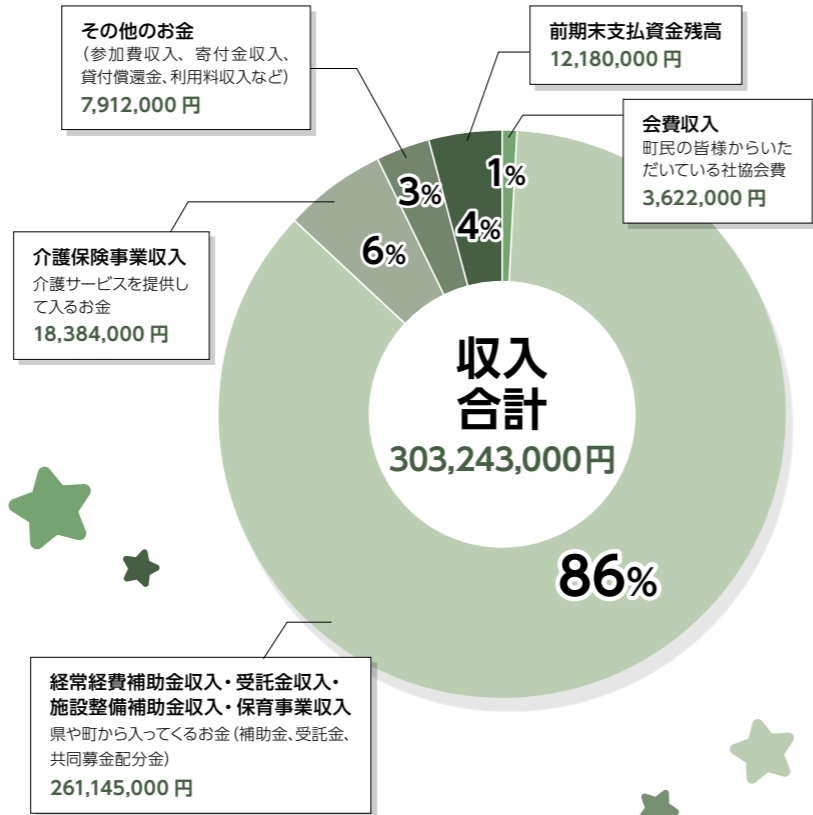
令和4年度

決算報告

一戸町社会福祉協議会は、令和4年度も地域の皆さまや各関係機関・団体などの協力のもと、事業を無事に行うことができました。令和4年度決算について次の通りご報告させていただきます。

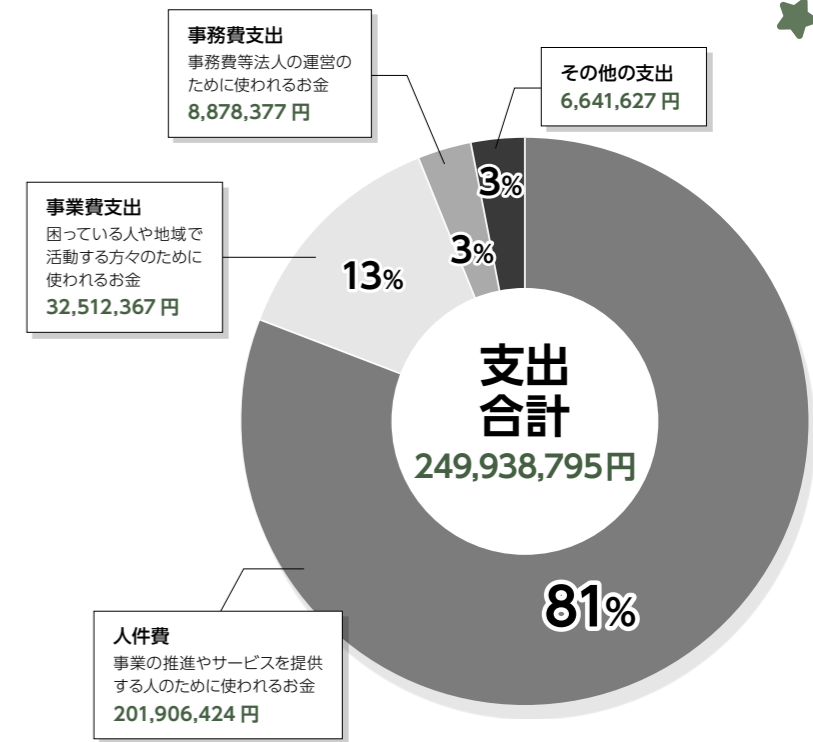
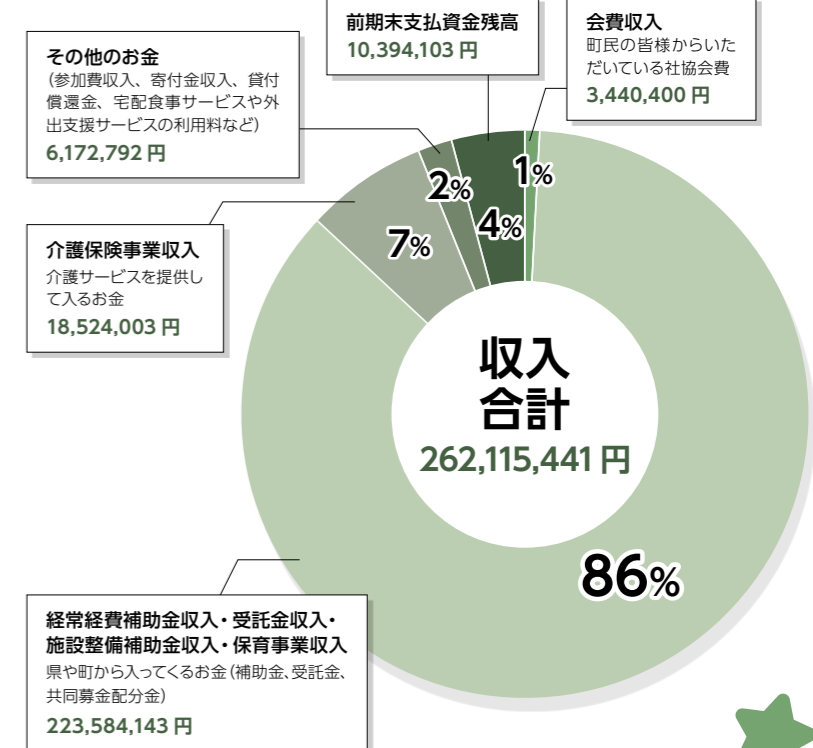
資金収予算書 (単位/円)

事業活動による収支	
収入	決算額
会費収入	3,622,000
寄付金収入	1,000
経常経費補助金収入	30,884,000
受託金収入	16,099,000
貸付事業収入	1,001,000
事業収入	4,409,000
介護保険事業収入	18,384,000
保育事業収入	214,162,000
受取利息配当金収入	2,000
その他の収入	30,000
事業活動収入計(1)	288,594,000
支出	決算額
人件費支出	237,914,000
事業費支出	33,843,000
事務費支出	10,671,000
貸付事業支出	1,500,000
助成金支出	1,508,000
事業活動支出計(2)	285,436,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,158,000
施設整備等による収支	
収入	決算額
施設設備等補助金収入	0
施設整備等収入計(4)	0
支出	決算額
ファイナンス・リース債務の返済	1,752,000
施設整備等支出計(5)	1,752,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,752,000
その他の活動による収支	
収入	決算額
事業区分間繰入金収入	1,500,000
拠点区分間繰入金収入	890,000
サービス区分間繰入金収入	79,000
その他の活動収入計(7)	2,469,000
支出	決算額
積立資産支出	1,000
事業区分間繰入金支出	1,500,000
拠点区分間繰入金支出	890,000
サービス区分間繰入金支出	79,000
その他の活動による支出	2,982,000
その他の活動支出計(8)	5,452,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△2,983,000
予備費支出(10)	10,603,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△12,180,000
前期末支払資金残高(12)	12,180,000
当期末支払資金残高(13)	0



資金収支計算書 (単位/円)

事業活動による収支	
収入	決算額
会費収入	3,440,400
寄付金収入	312,693
経常経費補助金収入	28,274,082
受託金収入	13,128,599
貸付事業収入	255,000
事業収入	2,838,532
介護保険事業収入	18,524,003
保育事業収入	182,181,462
受取利息配当金収入	522
その他の収入	43,800
事業活動収入計(1)	248,999,093
支出	決算額
人件費支出	201,906,424
事業費支出	31,110,267
事務費支出	8,878,377
貸付事業支出	235,000
助成金支出	1,167,100
事業活動支出計(2)	243,297,168
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	5,701,925
施設整備等による収支	
収入	決算額
施設設備等補助金収入	0
施設整備等収入計(4)	0
支出	決算額
固定資産取得支出	233,200
ファイナンス・リース債務の返済	1,116,360
施設整備等支出計(5)	1,349,560
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,349,560
その他の活動による収支	
収入	決算額
事業区分間繰入金収入	2,000,000
拠点区分間繰入金収入	722,245
その他の活動による収入	0
その他の活動収入計(7)	2,722,245
支出	決算額
積立資産支出	197
事業区分間繰入金支出	2,000,000
拠点区分間繰入金支出	722,245
その他の活動による支出	2,569,625
その他の活動支出計(8)	5,292,067
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△2,569,822
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	1,782,543
前期末支払資金残高(11)	10,394,103
当期末支払資金残高(12)	12,176,646





現在の子どもの様子

摺糠児童館を卒園したみなさんから、今楽しいことを教えてもらいました。



水あそび
(ジュースづくり)

にしだて きち
西館 幸来ちゃん



おえかき・
ドレスごっこ

かわそこ ゆな
川底 結菜ちゃん



算数とプール

にしだて ゆり
西館 幸璃ちゃん



色おに

にしだて みきや
西館 樹哉くん

こまき あおと
駒木 碧斗くん

なわとび



にしだて みゆき
西館 未幸記ちゃん

鬼ごっこ



特集

摺糠児童館 閉館からみる これからの子育て支援

令和5年3月31日、摺糠児童館が皆さんに惜しまれつつ歴史に幕を下ろしました。

昭和49年に摺糠児童館の前身となる季節保育所が開所されてから49年、主に奥中山地区の皆さんに愛され続けましたが、児童数の減少に伴い閉館の運びとなりました。一年を通じて自然に囲まれながら様々な体験ができる摺糠児童館。裏手には牧草地が広がり、夏は青々とした土地も冬になると子ども達にとっては最高の雪遊び場に様変わりします。

そんな四季折々の自然豊かな風土に見守られながら育った園児たちが、3月21日に行われた卒園式・閉館式で別れを惜しみました。4月からはみどりの森こども園へ統合となり5名の園児たちはこども園へ、最後の卒園児となった西館幸璃さんは奥中山小学校へそれぞれ新たな一歩を踏み出しました。これまでの思い出を、摺糠児童館の歩みとともに振り返っていきます。



沿革

昭和49年

摺糠部落公民館にて季節保育所 開設
季節保育所
農繁期に幼児を一か所に集め交替で幼児の指導を行う施設。昭和49年頃から就学前教育対策が重点施策の一つとなり、季節保育所はへき地保育所や児童館・幼児教室(面岸・女鹿・平糖)へ移行された。

昭和51年4月1日

摺糠へき地保育所開所
50名・対象者3歳〜5歳

へき地保育所(檀山・宇別・出儿町)
交通条件及び自然的、文化的諸条件に恵まれない山間地、開拓地等のへき地であった、児童が少なく、保育所を設置することが困難と認められる地域において、公民館など既存の施設を利用して保育所を設け、保育活動を行う保育所。

昭和62年1月31日

現在地に新築完成



平成19年4月1日

宇別へき地保育所休所に伴い、宇別地区入所児童の受け入れ開始

平成23年4月1日

摺糠児童館へ名称変更

児童館
(中里・摺糠・鳥越・姉帯・小整)
個別的、集団的に指導して児童の健康の増進と豊かな情操を図り、子ども会や母親クラブなど地域組織活動の育成指導を目的とした施設。
一戸町では、農村部の幼児の集団指導に重点を置き、親子レクリエーション等の活動を行った。(二戸町史より一部抜粋)

令和5年3月31日

閉館

これまで摺糠の土地で自然と共に少人数での学びを深めてきた子どもたち。閉館によってみどりの森こども園に統合されましたが、これからもたくさんの方との関わり合いや異年齢児との交流がより多くの学びや体験に触れる機会となるよ

う支援していきたいと思えます。また、地区単位だけでなく奥中山地域全体、あるいは町全体として支援していくことで、さらに子どもたちの健やかな成長を促していきたいように、これからも子どもたちを見守っていききたいと思えます。

事業計画

「一戸町社会福祉協議会では、住民一人ひとりの「福祉の心を育てる」「みんなの手で作る住みよいまちづくり」の実現に取り組むため、令和5年度の重点項目を以下の通り定めます。

重点事業

1 法人運営の基盤強化

2 助け合い支えあう地域づくりの推進

3 住民一人ひとりに寄り添う相談支援の充実

4 安心安全な在宅福祉サービスの提供

5 地域で見守る子育て環境の充実



訪問助け合いボランティア養成講座の様子



心豊かな子どもの成長を見守り支援する保育施設の受託運営

法人運営の基盤強化

財務状況や事業内容の積極的な公表等により事業運営の透明化を進め、法人運営及び事業実施の体制整備を進めます。
また、産業医の導入・衛生委員会の設置を行い、職員の健康管理や衛生教育を通じた職員の健康意識向上、健康的で活力のある職場づくりに努めます。

助け合い支えあう地域づくりの推進

地域住民や地域の多様な主体が中心となって参画できる地域づくりや、子どもから高齢者まで世代を超えて身近な地域でつながり合うためのボランティア活動を支援します。
自主組織やボランティア団体、サロン活動団体等が行う地域福祉活動を支援するとともに地域福祉課題を把握し、ともに支えあうまちづくりを進めます。

住民一人ひとりに寄り添う相談支援の充実

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制構築のため、「伴走型支援」「本人参加型支援」「地域づくり」を意識した相談支援体制を構築します。

安心安全な在宅サービスの提供

利用者一人ひとりや地域のニーズに合ったサービス提供を行うとともに、サービスの質と職員の専門性を高め、感染症や災害発生時等の緊急時も継続的にサービス提供できる体制を整備します。

地域で見守る子育て環境の充実

利用する乳幼児、児童について世帯状況を総体的に把握し、子ども子育て包括支援センターや学校教育課等関係機関と連携しながら、地域のニーズに合った子育て支援を進めます。
職員の専門性を高める人材育成、システムを活用した業務の適正かつ効率化、保育環境の整備等により、安心安全な保育サービスの提供に努めます。

組織図

法人運営事業

【法人運営事業】

【他団体事業】

民生児童委員協議会
共同募金委員会

日本赤十字社一戸町分区
一戸町社会福祉基金

地域福祉事業

【地域福祉事業】

ふれあい・いきいきサロン助成金事業
ゆいっこ活動助成金事業
シニアスポーツ大会
長寿祝い 他

【総合相談事業】

低利貸付事業
生活困窮者自立支援事業
日常生活自立支援事業 他

【在宅福祉サービス事業】

高齢者生きがい通所サービス
宅配食事サービス
通院時移送サービス

【地域包括ケアシステムの構築】

生活支援体制整備事業
認知症総合支援事業

児童福祉事業

いちのへじょうもの里こども園
奥中山みどりの森こども園
小鳥谷ふじの花こども園

一戸学童クラブ 小鳥谷学童クラブ
一戸南学童クラブ 奥中山学童クラブ

公益事業

【居宅介護支援事業】

【法人後見事業】

評議員 14名

【役員】

会長 1名
副会長 2名
理事 7名
監事 2名
事務局長



5

4

3

2

1

小鳥谷保育所からこども園へ新たな幕開け 小鳥谷ふじの花こども園開園式

4月1日、小鳥谷ふじの花こども園（園長櫻井美紀子）の開園式が行われました。

当日は、小野寺美登町長や教育委員会中嶋教育長、本会会長をはじめとする来賓と園児8名が参加し開園式を彩りました。緊張しながら開園式に臨んだ園児たちも、新しい看板が現れるとにこやかに眺め、こども園としての再出発に胸を高鳴らせているようでした。

いちのへじょうもの里こども園、奥中山みどりの森こども園に続き、町内で3つ目のこども園の開園となります。今後も以前の保育所の良さを残しつつ、豊かで特色ある自然と地域の皆さんの優しさに包まれた「小鳥谷の良さ」を活かして、これからも地域に愛されるこども園を作り上げていけるよう努めていきます。



- 1 除幕された園の新名称が刻まれた看板。
- 2 小鳥谷ふじの花こども園の園庭で元気に遊ぶ子どもたち。



熱戦 活力あふれる大会に 一戸町いきいきシニアスポーツ大会

6月23日一戸町体育館で、いきいきシニアスポーツ大会が開催されました。46回目となる今大会では、総勢13チームが熱い戦いを繰り広げました。

前年度より参加団体数が2チーム増え、一戸町長や本会会長等来賓チームも競技に参加し、スタートから大いに盛り上がりました。中にはおそろいのゼッケンとハチマキをつけているクラブもあり、応援にもより一層熱が入っていました。ゴールまであきらめず駆け抜けた皆さんはいつも増して若々しく、会場全体がエネルギーで満たされました。

結果は、優勝 奥中山平成会、準優勝 中田長寿会、第3位 摺糠慶寿会となりました。また来年も元気な皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。



- 1 優勝した奥中山平成会の皆さん。おめでとうございます。
- 2 白熱した競技の一コマ

1人1人のやさしい気持ちを育て 奥中山小学校 認知症講座

奥中山小学校（校長中島敬）4年生の児童17名は、7月4日、認知症講座「友蔵物語～認知症になっても一戸町で暮らし続けたい～」を受講しました。

この講座は、本会と一戸町地域包括支援センターが二戸管内関係機関との協働で実施するもので、認知症に対する正しい理解の普及や誰にでもやさしい地域づくりを目的とする事業です。

受講した児童は、演劇を通じて認知症を身近に感じ、楽しみながら理解を深めました。



複数の関係機関職員で演じる認知症普及啓発劇を鑑賞する奥中山小の児童。

「多職種連携」と「実践」 一戸町地域包括ケアシステム検討委員会始動

一戸町において、誰もが自分らしく暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指す一戸町地域包括ケアシステム検討委員会（委員長大欠清身）は、6月27日、第1回全体会を開催し今年度の活動をスタートさせました。

この委員会は平成26年度に町が設置して以降、30近い関係機関が3つの部会に分かれ検討と地域実践の取り組みを継続してきました。委員は、「多職種連携の強みを活かして、様々な活動を展開していこう」と士気を高め合いました。



一戸町地域包括ケアシステム検討委員会の様子。今年度も様々な活動を計画中。

一戸南学童クラブ 盛岡市動物公園ZOOMO遠足

5月22日、一戸南学童クラブ（所長松舘聖子）に通う児童31名は、今年4月にリニューアルオープンした盛岡市動物公園ZOOMOへ遠足に行きました。

普段見ることのできないたくさんの動物たちとのふれあいや、自然の中で全身を使った遊び、1年生から6年生まで学年を越えた関わり合い等たくさんのことを経験することができました。

今後も学童クラブならではの活動を提供していきたいと思ひます。



動物とのふれあいに緊張気味の子もたち。

これからの人生も楽しく自分らしく オレンジカフェさくらの会活動の様子

オレンジカフェさくらの会（代表柏葉英美）は、認知症のある人もない人もともに集い支え合うことを目的として、認知症カフェを開催しています。

毎月第3土曜日にはコミュニティセンターで開催し、軽体操や本の読み聞かせ、食に関する講話を通じて、参加者やボランティアが互いにふれあう場となっています。

月に一度地域を巡回して開催しており、より多くの方がふれあい生活の不安が少しでも軽減され、自分らしく楽しく生きるきっかけづくりに向けて活動を継続していきます。



おむすび屋（鳥越地域）で開催されたオレンジカフェさくらの会の様子。

社会福祉協議会会費の納入にご協力をお願いします

本会は、地域住民同士が支え合いながら自分らしく活躍できる「地域共生社会」の実現を目指しています。事業の実施においては、町民の皆様からの会費、町からの補助金・委託料、共同募金助成金等を財源として活動しております。

よりよい福祉のまちづくりに向けた事業推進のために、会費の納入についてご理解とご協力をお願いいたします。

納入時期：令和5年8月1日～9月8日(金)
 納入金額：一般会員世帯 800円/特別会員世帯 2,000円
 納入方法：各地区の行政連絡員や町内会を通じて納入をお願いいたします。

問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会(TEL 0195-33-3385)

- 社協会費の用途例
- 歩行が困難な方の通院をサポートする外出支援サービス
 - 高齢や障がいにより調理が困難な方への宅配食事サービス
 - 町内小中高生の福祉教育
 - 町内の乳幼児へのチャイルドシート無料貸出

高齢者生きがい通所サービス(いきいきサービス)のご案内

本会では一戸町民生児童委員協議会とともに、高齢者の健康づくり等を目的として標記事業を実施しています。利用を希望される方は、下記までお問い合わせください。

利用できる方：町内にお住いの65歳以上のひとり暮らしの方、日中ひとり暮らしの方、65歳以上の夫婦のみの世帯の方
 利用日時：1人あたり月2回
 (お住まいの地域によって利用できる曜日は異なります)
 各回とも午前9時30分～午後2時00分まで
 場所：来田保養センター(送迎あり)
 料金：1人1回700円(入浴料、昼食代込み)
 内容：健康相談、血圧測定、入浴、食事、レクリエーション等
 問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会(TEL 0195-33-3385)
 またはお住まいの地域の担当民生委員



一戸病院まつり開催のお知らせ

9月のアルツハイマー月間に合わせて認知症に関する普及と、県立一戸病院の活性化を目的とした標記イベントを下記により開催します。

日時：令和5年9月23日(土)
 午前10時00分～午後2時00分
 場所：県立一戸病院 院内
 体育館をはじめ、院内でさまざまなイベントを開催します。ご来場の方は、正面玄関の反対口からお入りください。当日、スタッフがご案内します。
 内容：各種ステージ発表、キッチンカー等飲食ブース、認知症検査、職員による相談窓口等
 ※先着250名記念品プレゼント
 問い合わせ：県立一戸病院(TEL 0195-33-3101)

オレンジカフェさくらの会【開催中】

令和5年度もオレンジカフェさくらの会は、下記の日程で認知症カフェを開催中です。子どもからお年寄りまで、どなたでもご参加いただけます。
 開催日時、場所については以下のとおりです。
 参加費：各回とも1人100円
 問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会(TEL 0195-33-3385)

年月	日にち(曜日)	時間	場所
令和5年8月	6日(日)	10:00～12:00	宮田温泉(鳥海)
	19日(土)	10:00～12:00	一戸町コミュニティセンター
9月	16日(土)	10:00～12:00	一戸町コミュニティセンター
	29日(金)	14:00～16:00	結カフェ(奥中山)
10月	21日(土)	10:00～12:00	一戸町コミュニティセンター
	28日(土)	10:00～12:00	小鳥谷駅(小鳥谷)
11月	18日(土)	10:00～12:00	一戸町コミュニティセンター
	29日(水)	10:00～12:00	淵龍寺(鳥越)
12月	16日(土)	10:00～12:00	一戸町コミュニティセンター
	22日(金)	10:00～12:00	カフェ里やま(奥中山)
令和6年1月	20日(土)	10:00～12:00	一戸町コミュニティセンター
	28日(日)	10:00～12:00	宮田温泉(鳥海)
2月	17日(土)	10:00～12:00	一戸町コミュニティセンター
	27日(火)	10:00～12:00	ぶらっと・ほっと(一戸)
3月	16日(土)	10:00～12:00	一戸町コミュニティセンター

爽やかな夏を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
 この度の役員改選により、六月二十二日付けで会長に就任いたしました。
 もっとより微力ではございますが、林野前会長の地域福祉に対する意思を引き継ぎ「誰もが安心して暮らせる町づくり」を主眼に置き、地域に密着した事業を推進して参りたいと存じますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。
 私は小学校及び幼稚園といった



社会福祉法人一戸町社会福祉協議会
 会長 大道 正樹

子どもに深く関わる仕事に従事してまいりましたが、社会福祉の根底にある「個人の尊厳の保持」や「健康で幸せな生活を営む」などの理念は教育の分野と共通するものであり、人の生き方や生きがいの実現に大きな共鳴を感じているところです。
 ここで、連日、テレビのニュースでは心痛む事件・事故が多発しています。日常生活での困難さにより生きる希望を失ったり、心の状態の不安定さによる犯罪や非行、貧困や孤独といった問題がクローズアップされております。
 さらに、今年も九州地方の豪雨災害の様子が報道されており自然の猛威を改めて実感させられます。当町においても昨年、馬淵川の増水により大きな被害が発生しました。本会では十年ぶりとなる災害ボランティアセンターを設置し、住民と関係機関とが一体となって被災者支援に取り組み、町

内外の皆様のご支援を頂戴いたしました。関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。
 また、一戸町より受託している教育・保育施設の管理・運営につきましては、多様化する保育ニーズに柔軟に対応することを目的として、町内で三つの認定こども園の運営に携わり、より質の高い保育サービスの提供に努めております。
 町民の皆様が、いつも明るく心にゆとりをもち心の状態が安定するような場を構築することが我々の使命であり喜びでもあります。私たちは皆様方からより身近で頼られる存在でありたいと考えています。
 生活の厳しさが増す昨今ではありますが、町民の皆様とともに歩む社会福祉事業を肝に銘じて諸活動を推進して参りたいと存じますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社協役員(理事・監事)のご紹介 (任期)令和5年6月22日～令和6年に関する定時評議員会終結時まで(2年間)

会長	大道 正樹 (住民代表)	理事	山火 清孝 (行政連絡員協議会会長)
副会長	堀口 泰男 (住民代表)		駒木 彬了 (施設代表)
	女ヶ澤富士雄 (民生委員)		三浦 和枝 (婦人会代表)
理事	野崎 貞春 (町行政代表・福祉部長)		早坂 伸子 (住民代表)
	梅垣 俊輔 (住民代表)	監事	中瀬 正一 (住民代表)
	大和田留吏子 (一戸町児童福祉施設代表)		吉田 幸男 (住民代表)

各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	あすいろ(自立相談支援機関)	ふれあい相談
開催日	8月8日(火)、8月22日(火)	8月23日(水)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)
	9月12日(火)、9月26日(火)	9月19日(火)		
	10月10日(火)、10月24日(火)	10月17日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:00	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 0195-23-5800 ※要予約		OneDishあすいろ TEL 0195-43-3525	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 0195-33-3385

災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

- ・令和5年台風第2号等大雨災害義援金
(受付期間：令和5年6月21日～9月30日まで)
- ・令和5年5月能登地方地震災害義援金
(受付期間：令和5年9月29日まで)



その他、各種国外義援金、救済金についても受付しております。一戸町社会福祉協議会(TEL 0195-33-3385)までお問い合わせください。

寄付御礼

(令和5年3月～令和5年6月取扱分)

社会福祉協議会への寄付

- ◆匿名様金 5,118円 也
- ◆平成30年度奥中山中学校卒業生一同様金 2,240円 也

頂きましたご寄付は、地域福祉事業の推進のため使用させていただきます。ありがとうございました。

表紙の紹介

6月23日に開催された一戸町いきいきシニアスポーツ大会の様子。どの方も勝負にける真剣な眼差しで競技に臨まれていました。気温はさほど上がらず、雨の中の開催となりましたが、体育館の中は熱気に包まれました。また来年も皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。



(P8参照)

読者プレゼント

本誌への感想や当協議会への意見など、アンケートに答えていただいた方の中から抽選で3名の方に一戸町の特産品(1,000円相当)をプレゼントします。

応募を希望される方は、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤本誌への感想や当協議会に対する意見などを明記の上、はがきまたはメールにて編集係までお送りください。発表は、発送をもって替えさせていただきます。

応募方法

- ▶ はがき
〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2
一戸町社会福祉協議会「広報ゆいっこ編集係」
- ▶ メール
ichinohe-shakyo@themis.ocn.ne.jp



編集後記

蒸し暑い日が続き、だんだんと本格的な夏が訪れつつあるようです。水分補給をこまめにとって元気に過ごしたいですね。さて、今年度も引き続きゆいっこを担当させていただきます。よろしく願いいたします。昨年度よりもさらに一戸の隅々まで駆け回り、一人でも多くの方に地域の福祉情報と一戸の魅力をお届けしたいと思います。2023年のゆいっこもどうぞよろしくお願いいたします。(高橋)

社会福祉法人 一戸町社会福祉協議会

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2
(一戸町総合保健福祉センター内)
TEL 0195-33-3385 FAX 0195-33-2737
ホームページ
<https://ichinohe-shakyo.jp/>

